

就任に際して

理事長 小林 顕 栄

法主であり学長である望月日滋殿下のもとで、総務としてまた学園の理事長として、お山に奉仕することになりました。私は法主様と同じく身延の出身であります。これからのこの学園を、どのように発展・充実させていくべきか、については、学長先生のご意向を承りながら、学園当局、並に学園と深い関係にある方々とも、じっくり検討していきたいと考えております。

古来、本学園の卒業者が、宗門を背負て立つ上に、大きな力となって来たことは、広く宗門人の認めているところであります。明日の宗門を築いて行く上に、今後も本学園の持つ役割は、一層大きなものとなって行くことだろうと存じます。

宗祖がこの身延へ御入山なされた目的の一つは、＼人材の養成＼と、＼布教・教学の基礎を固める＼ためであったことを考えるとき、その流れを汲む本学園の存在も、クローズアップされなくてはならないと思います。

本学園も今や、国からの「私学助成」を受けて年々充実を計っていますが、まだこれから充実させて行かなくてはならぬ点も多々ありますので、全国同窓有縁各位の御支援御協力をいただきたくお願い致します。尚、伝統ある「祖山教学」の発表の場である本誌『榎神』の、益々の発展を期待いたします。